

(別添3)

## 【九重町】 校務DX計画

九重町では校務DX化を推進し、業務の簡略化を図ることで教職員の働き方改革の実現に向けて取り組んでおり、「GIGAスクール構想の下での校務の情報化に関する専門家会議」の提言や「GIGAスクール構想下での校務DX化チェックリスト」による自己点検結果を踏まえて次の通り取り組みます。

### 1. 校務のデジタル化について

九重町では県内統一の校務支援システムを導入することで、市町村間での人事異動に伴う負担軽減を図っています。名簿情報の不必要な手入力作業の一掃に努め、学校業務の支援を強化することで事務作業の効率化を図ります。また、「校務支援システム連絡協議会」等を通して課題の確認し、必要な機能を満たした校務支援システムの導入に向けて取り組みます。

学校給食費・徴収金管理システムの構築により、対象者の一元管理や口座振替を主体とした業務の効率化にも取り組んでいます。

令和6年度には保護者との連絡ツールを導入し、出欠確認の迅速化や配布物を電子配布することで紛失や未受領のリスクを軽減し、印刷や配布などのコスト軽減も期待できます。更には校務におけるFAX及び押印に関しては可能な限り廃止に向けて取り組みます。

### 2. データ連携について

校務や学習支援において、学習支援ソフトを活用した資料共有や連絡事項の確認・効率化を図り、教職員間および児童生徒間の双方向によるデータ連携が強化されています。また、学校内で扱うデータは、共有フォルダ等を活用し学校間での共有についてもデータの連携が円滑に行われています。このようなデータ連携の強化により、学校運営の効率化、教職員・児童生徒・保護者の情報共有の円滑化に取り組んでいます。

### 3. クラウド化について

九重町では、令和2年度にchromebookの導入を開始し、独自ドメイン(koko-ed.jp)を取得して職員・児童生徒のアカウントを作成し、GoogleclassroomおよびGoogleフォームを活用した効率的な提出物管理と自動集計を実現しています。また、クラウドサービスを活用することで情報共有の円滑化、ペーパーレス化が進んでいます。

### 4. 生成AIの活用について

令和5年7月4日に文部科学省が示した「初等中等教育段階における生成AIの利用に関する暫定的なガイドライン」を受け、九重町においても「生成AIの利用のガイドライン」の策定に向けて取り組んでいます。今後も事例集などの情報収集に努め、校務における生成AIの活用が推進されるように支援します。